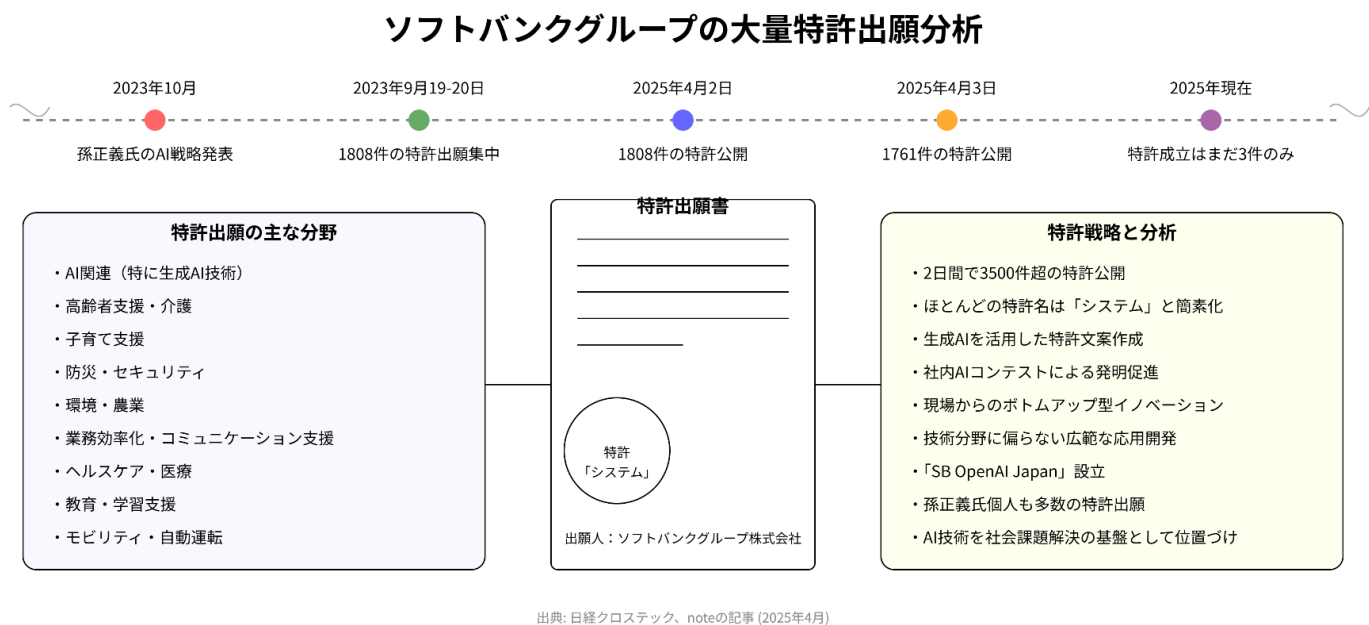


ソフトバンク G の特許が 2 日で一挙に 3500 件超公開

Felo AI



主な概要

- ソフトバンクグループは 2025 年 4 月 2 日と 3 日の 2 日間で合計 3500 件を超える特許出願を公開。多くは AI 関連で、発明名称は「システム」と極めて簡素に記載され、迅速な出願体制と内部イノベーションの実情が反映されている。
- この大量出願は、2023 年 10 月頃以降、孫正義氏の AI 戦略の一環として進められており、生成 AI を活用した文案作成など、技術と業務体制の刷新が背景にある。
- 一方、別記事では公開された 1794 件の特許を詳細に分析。出願の分野は高齢者支援、子育て、防災、環境、セキュリティなど多岐にわたり、出願内容からは課題認識とそれに対する自動生成型の計画提案や動的な解決手段が読み取れる。

詳細なレポート

Executive Summary

ソフトバンクグループ（ソフトバンク G）は、2025 年 4 月 2 日と 3 日の 2 日間で合計 3500 件を超える特許出願を公開し、その多くが AI（人工知能）関連の発明であり、発明の名称は「システム」と簡素に記載されている[1][7]. この大量出願は、孫正義氏が 2023 年 10 月頃から表明していた AI 戦略の一環であり、生成 AI を活用した文案作成など、技術と業務体制の刷新が背景にある[1]. 公開された 1794 件の特許は、高齢者支援、子育て、防災、環境、セキュリティなど多岐にわたる分野に及び、課題認識とそれに対する自動生成型の計画提案や動的な解決手段が特徴である[5][8]. ソフトバンク G は、AI 技術を社会全体の課題解決や人々の生活を豊かにするための基盤技術として捉え、グループ全体の AI リテラシー向上と現場からのボトムアップ型イノベーションを奨励する企業文化を背景に、AI を中心とした広範な分野でのイノベーション創出に強い意欲を示している[6].

特許公開の状況

大量特許出願

2025 年 4 月 2 日に 1808 件、3 日に 1761 件のソフトバンクグループの特許出願が特許庁により公開された[1][11]. 2 日間で 3500 件を超える特許が一举に公開され、2025 年 1 月からの特許公開件数ランキングで、ソフトバンクグループがトヨタ自動車やキャノンを抑えて 1 位になった[1]. 特許公開件数は急増している[1].

特許の内容と焦点

AI 関連発明

公開された特許は、AI（人工知能）に関連する発明が中心である[1]. 特に生成 AI（Generative AI）への注力が際立っている[1].

発明の名称

特許の名称のほとんどが単に「システム」となっている[1][7]. これは、特許事務所が大量の明細書作成に追われたため、発明の名称を考える余裕がなかったことが推測される[1].

出願人

すべての出願人はソフトバンクグループ株式会社である[1].

特許出願の背景と戦略

孫氏の AI 戦略

孫正義氏は 2023 年 10 月ごろから、AI（人工知能）に関連する発明の大量出願を表明していた[1]. ソフトバンク G は、AI をグループ全体の成長戦略の中核に据え、AI 技術の開発と社会実装に積極的に取り組んでいる[1]. 今回の大量の特許出願は、この AI 戦略を色濃く反映したものである[1].

社内イノベーション

短期間での集中出願は、社内アイデアコンテスト等の成果である可能性が示唆されている[6][43]. これは、ソフトバンク

Gがグループ全体の AI リテラシー向上と、現場からのボトムアップ型イノベーションを奨励する企業文化を持っていることの証左となる[6].

応用分野

ソフトバンク Gの特許出願は、特定の事業分野に偏ることなく、極めて広範な応用分野をカバーしている[5]. 応用分野は、業務効率化、社会課題解決、個人向けサービス、コミュニケーション支援、ヘルスケア、教育、モビリティ、エンターテインメントなど、社会や生活のあらゆる側面をカバーしている[1].

応用分野カテゴリ	例
業務効率化・社内システム	会議支援（議事録作成、要約、ファシリテーション）、資料作成支援、情報検索・共有、問い合わせ対応自動化、スケジュール管理、タスク管理、業務プロセス自動化（RPA）、翻訳、コミュニケーション改善、人事評価支援、研修・OJT 支援
社会課題解決・公共サービス	災害対策（情報収集、物資輸送、避難誘導）、防災、交通システム（渋滞緩和、信号制御、ナビゲーション）、行政手続き支援、公共施設案内、地方自治体業務支援、政治参加促進
個人向けサービス・ライフスタイル支援	健康管理、食事・栄養管理、メンタルヘルスケア
コミュニケーション支援	翻訳、要約、文章生成・校正、手話翻訳、感情分析、対話 AI、バーチャルアシスタント、メンタルサポート、ハラスメント対策
ヘルスケア・医療・介護	認知症ケア・予防、高齢者見守り・支援、健康管理、食事・栄養管理、メンタルヘルスケア、遠隔医療、診断支援、創薬支援、リハビリ支援、介護負担軽減

応用分野カテゴリ	例
教育・学習支援	個別最適化学習、学習計画作成、教材生成、 質問応答、家庭教師、語学学習、スキル習得 支援、情報リテラシー教育、教員業務支援、 教育格差解消
モビリティ・自動運転	
セキュリティ・安全・防災	
環境・農業・インフラ	
人事・キャリア支援	
AI 基盤技術・プラットフォーム	

特許の権利化状況

2025 年 1 月以降に実際に成立済みの特許件数はまだ 3 件である[1][7]. 残りの多くはこれから特許庁で審査されることになる[1].

孫正義氏個人の特許出願

孫正義氏を発明者とする特許出願が 2024 年 4 月以降、多数公開されている[2][28]. 2023 年に 1008 件の特許を出願し、2024 年 9 月末までに約 200 件が公開された[2][28]. 主な分野は自動運転と物流で、技術面では分散処理と完全自動化に関するものが目立つ[2][15]. ソフトバンク G が手掛ける通信・半導体・AI（人工知能）の事業拡大につなげる狙いがある[2].

1794 件の特許分析

ソフトバンクは、4 月 1 日に 300 件、4 月 2 日に 1800 件公開されたのに続き、4 月 3 日にも 1794 件の特許を公開した[51]. 2023 年 9 月 19 日および 20 日の極めて短期間に 1808 件という大量の出願が集中しており、これは社内 AI コンテストの成果一括出願や戦略的なポートフォリオ構築など、特別な背景を示唆する異例の動向である[6].

1794 件の特許における課題認識と解決手段

1794 件の特許における課題認識の傾向は、健康状態評価、病気リスク・兆候検出、メンタルヘルス評価、リスク分析・予測、組織文化、コミュニケーション、能力・適性、コンテンツ信頼性、著作権侵害など多岐にわたる[8].

解決手段としては、旅行・移動プラン、健康・医療関連プラン、コーディネート提案、ビジネス関連提案、行動提案、イベントプラン、学習プランなどの計画・提案の自動生成、業務プロセス自動化、コンテンツ自動生成、設備配置・最適化など多岐にわたる[8].

その他

ソフトバンク G は生成 AI を活用して特許文案を作成している[1]. 孫正義氏は、自身が発明した生成 AI 関連の特許が 1 万件を超えたと述べている[1].

SB OpenAI Japan の設立

ソフトバンクグループと OpenAI が合弁会社「SB OpenAI Japan」を設立し、企業用 AI「Cristal intelligence」を日本の主要企業に対し独占的に販売する[13]. ソフトバンクグループ自身が第 1 号ユーザーとなり、年間利用料は約 4500 億円相当である[13]. 孫正義氏は長期記憶に関する基本特許を取得しており、これがクリスタル・インテリジェンスで重要な部分だと強調している[17][18].

ソフトバンク G のコミットメント

ソフトバンク G は AI、特に生成 AI を核とした技術開発と事業展開に、極めて強いコミットメントを持っている[6]. ソフトバンクでは、技術開発部門だけでなく、営業部門の担当者も発明者となることが珍しくなく、現場の課題が独自の発明につながっている[9].

結論

ソフトバンク G は、AI 技術を特定の製品やサービスだけでなく、社会全体の様々な課題解決や、人々の生活のあらゆる側面を豊かにするための基盤技術として捉えている[5]. そのため、特許出願の分野は多岐にわたり、技術開発と社会実装に積極的に取り組んでいる[5].

1. [ソフトバンク G の特許が 2 日で 挙に 3500 件超公開、発明の名称 ...](#)
2. [孫正義氏が特許を大量出願 発明から探る「頭の中」](#)
3. [ソフトバンクの 310 件の特許を調べてみよう — note](#)
4. [ソフトバンク株式会社 \(特許分析レポート・日本\)](#)
5. [ソフトバンクの 1808 件の特許を調べてみよう — note](#)
6. [ソフトバンクの 1808 件の特許を調べてみよう — note](#)
7. [ソフトバンクグループ株式会社の特許出願公開一覧 — IP Force](#)
8. [ソフトバンクの 1794 件の特許を調べてみよう — note](#)
9. [現場の課題が独自の発明につながる。ソフトバンクが目指す ...](#)
10. [特許業界・知的財産業界情報トップス【iptops.com】](#)
11. [ソフトバンク G の特許が 2 日で 挙に 3500 件超公開、発明の名称 ...](#)
12. [ソフトバンク G の特許が 2 日で 挙に 3500 件超公開 — LinkedIn](#)
13. [孫氏「日本の大企業から AGI は始まる」 ソフトバンク G は第 1 ...](#)
14. [ChatGPT、高インパクトのバージョンアップ継続で生成 AI 市場 ...](#)
15. [ソフトバンクグループの孫正義氏を発明者として出願された ...](#)
16. [日経クロステック \(xTECH\) on X: "ソフトバンク G の特許が 2 ...](#)

17. [ソフトバンク G の孫氏が見せた自信と笑み、OpenAI のサム ...](#)
18. [企業向け AI 「Cristal intelligence」 発表 カギになるのは“長期 ...](#)
19. [ソフトバンク G、AI 開発に 78 兆円 米オープン AI などと共同](#)
20. [ソフトバンク G オープン AI に最大 5 兆 9800 億円余り追加出資へ](#)
21. [ソフトバンク G の特許出願 ― よろず知財戦略コンサルティング](#)
22. [【B！】 ソフトバンク G の特許が 2 日で 挙に 3500 件超公開](#)
23. [特許マイスターのアングル ― 日経クロステック \(xTECH\)](#)
24. [ソフトバンクグループ株式会社の特許登録一覧 ― IP Force](#)
25. [ソフトバンク G OpenAI と 4500 億円規模の合併事業で本格 ...](#)
26. [ソフトバンク G が生成 AI 関連の特許 1 万件以上出願している ...](#)
27. [目指せ「次のエヌビディア」―ソフトバンク G の社運賭けた孫 ...](#)
28. [200 件が公開された孫正義氏「発明」の特許出願](#)
29. [ソフトバンク、AI 技術特許出願 1 万件宣言は本当か？](#)
30. [岡部 一詩 | 日経クロステック ― X](#)
31. [ソフトバンク G の特許が 2 日で 挙に 3500 件超公開、発明の名称 ...](#)
32. [政府、2025 年の知財戦略で意見募集→AI に関する意見が約 8 割 ...](#)
33. [企業向け AI 「クリスタル」に透ける「サム・アルトマンを死ぬ ...](#)
34. [孫正義氏「生成 AI の基本技術、発明者は僕だった」-AGI 実現の ...](#)
35. [ソフトバンク G の生成 AI を活用した効率的な特許出願](#)
36. [ソフトバンク G、数億の AI エージェント導入を構想―OpenAI と ...](#)
37. [パテントサロン 特許・知的財産情報サイト](#)
38. [200 件が公開された孫正義氏「発明」の特許出願](#)
39. [ソフトバンク孫氏発明者特許の公開件数が急増](#)
40. [孫正義氏発明の「キラー特許」について ― Yahoo！ニュース](#)
41. [ソフトバンク G の孫正義氏、株主総会で「10 年以内に人類 ...](#)
42. [『65 歳まで雇用確保義務化、相性のいい「シニア人材と生成 AI ...](#)
43. [ソフトバンク株式会社 第 38 回定時株主総会](#)
44. [200 件が公開された孫正義氏「発明」の特許出願、次の標的は ...](#)
45. [生成 AI 関連特許 646 件すべてを調査・分析してみた ― note](#)
46. [ソフトバンク G、数カ月で生成 AI 関連の特許を 1 万件出願-孫氏 ...](#)
47. [ソフトバンク G、数カ月で生成 AI 関連の特許を 1 万件出願](#)
48. [kawakami naritoshi ― 川上 成年 / chizai designer ― X](#)

- 49. [孫正義氏が描く物流革命、「くるみ割り人形」で複数ロボット ...](#)
- 50. [椿@弁理士（椿特許事務所）（@Tsubaki_Yutaka） / X](#)
- 51. [ソフトバンクの 1794 件の特許を調べてみよう | iptops.com](#)
- 52. [株式会社プロパティ: MyHome](#)
- 53. [テレコムインサイドー 日経クロステック（xTECH）](#)
- 54. [発明から探る「孫正義氏の頭の中」](#)
- 55. [2023 年の特許出願は 30 万件超、これは良い兆候かもしれない](#)